

大本大阪本苑だより

発行所
〒557-0012
大阪市西成区聖天下1丁目3-14
大本大阪本苑
☎ (06) 6651-5670
Fax (06) 6651-6611

前田純一特命派遣宣伝使を迎え 大阪本苑5月月次祭執行

薫風香る陽気の中、大阪本苑5月月次祭が前田特命派遣宣伝使を迎え5月14日(日)執行された。祭典は伶人入殿、祭員入殿、祓式行事、齋主拝礼、献饌、齋主湯田義宗参事による「月次祭祝詞」引続き「誕生祭祝詞」奏上、5月4日に改訂された「世界平安安全祈願祝詞」が奏上された。玉串捧奠では、齋主、前田純一特命派遣宣伝使、宣伝使代表、本苑長、分所支部代表等が敬虔にささげた。神言、讚美歌斉唱、続いて乙姫様礼拝と進み祭員・伶人退殿。伊藤香次長による「おほもとしんゆ」一拝読にて祭典は終了。伊藤忠茂本苑長の挨拶では、「弥仙山岩戸開き120周年の記念祭典では、晴天にめぐまれ大阪から多くの方の参拝ありがとうございます。また、みろく大祭でのご奉仕ご苦労さまでした。最近、北陸で震度6、千葉で震度4の地震が頻発に起こっており、世の中が騒がしくなっております。大正八年一月二日のいづのめしんゆの中に「天地の変災は皆人民の心と言霊が濁りておるから、一年増しに多くなるばかりであるから、日本の言霊の幸い天照る国の人民は、第一番に心の立替え立直しを致して言霊を清め、善言美詞を用うて、天地の神様と人民の心を和らげんことには、いつまでも天災地変が治まることにはな

いぞよ。」また今の人民は一人も善言美詞を使うものは無いとも示されており「大三災、小三災頻発するも人心の反映なりけり」との聖師さまのお歌があります。私たちは、自分自身を見つめ直す必要があるのでは無いかと感じます。そして教主さまは、ご挨拶の中で大きく変わりゆく世の中に対応するために、ご神書拝読の大切さを説かれておられます。令和のみろく3カ年に初年度あたり、大本神諭、いづのめしんゆ、霊界物語をしっかりと拝読させていただきましょう。又、昨日東京で開催された世界連邦第78回全国定例会に参加させていただきました。その中で大橋光夫会長の挨拶の中に「神様は一人一人に生命をくださっている。勝手に国土に境界をひいている場合ではない。皆が血がつながっており、仲



大阪本苑5月月次祭

良くできないわけがない。世界人類のために働く、アジアから広がることを望む。」また「恒久的世界平和の実現には、他の誰かに任せるのではなく、まず自分で何が出来るのかを、まわりの巻き込み、行動していくことが大切である。」という言葉がありました。秋には、世界連邦運動協会の副理事長・日本国委員会事務局長の塩浜修先生をお迎えし、お話を聞かせていただく予定にしております。また、みろく大祭時に霊界の消息を特集した「まつのよ」が発刊されましたので、皆様もお買い求め下さい。来月には、皆様も100周年の記念祭典が熊本で行われますが、現地にはなかなかいけませんので直会后に、前田純一特命派遣宣伝使の月次祭講話、「み手代お取次とご神徳」のお話を拝聴させていただきます。最後になりますが、コロナ感染者が減少傾向ではありますが、引き続き来月も多くの皆さまと共に参拝できますように、世界各地で起こっている、大三災、小三災が一日も早く治まりますように日々神言を奏上させていただきます。『と述べた。引続き芸術部より冠沓句の表彰があり三島分所の神門明子氏に記念品が手渡された。その後須裕司財務部長より決算報告があり、水田良司編集部長によるお知らせ、増井さえ子先生によるエスplanトかわら版の紹介の後直会に移った。その後前田純一特命派遣宣伝使による「み手代お取

次ぎとご神徳」と題した月次祭講話を拜聴し最後に全員で基本宣伝歌を斉唱し終了となった。歓びの家では青少年が茶話会を行い、ご神前で分所支部長が講話が行われた。

【講話要旨】
参拝者140名

「み手代お取次とご神徳」

前田純一特命派遣宣伝使

本日大阪本苑月次祭祭典での讚美歌に「敵の言葉は命なり、瑞の言葉は葉なり」とありました。み手代お取次ぎの方は神様のみ教えをお伝えする喜びと受ける方はおかげをいただき救われる双方の信仰の喜びがあります。万祥殿では毎日20件、30件とあるご祈願、お取次ぎですが、神様の手足となって素直に謙虚にお使いいただく事が大切だと思えます。取り次ぐ方の経験は関係ありません。まず実践することが重要です。熊本み手代お取次ぎ100周年の記念大祭に先駆けてご紹介いたします。大正12年当時、聖師様は熊本杖立温泉に29時間かかって訪れられ「小国支部は天国や」と17日間ご逗留されました。8月23日の祭典後28日にお土産に160本の竹の杓子を求められました。その杓子に「萬有のみ霊を救う竹杓子心のままによびと救えよ」とご染筆されました。お杓子から「み手代」と奉称された。病氣平癒の神器としてご用をさせていただきます。単に捧持しているだけでは意味をなしません。大いに活用しなければなりません。令和5、6、7年の激動の3年に消極的な言霊でなく日常から善言美詞を使わせていただき、また心からそう思い、よい言霊でよい行動をとっていきたいと思います。神の宣伝使たるもの自分の霊魂と心性を研ぎ、神を理解し、知感し、愛と信とを感じしこれを万民に伝うべきものであります。神の道に仕うべきみ霊ほど歓喜をあじわう幸福者はないと思えます。本当のおかげをいただくのが一番の幸福であります。

令和5年度・節分人型大祓 宣教功労表彰者

- 千体以上 通算45回以上(2人)
(旭) 那須 真太・山下 茂代
- 千体以上 通算35回以上(1人)
(三島) 神島美代子
- 千体以上 通算30回以上(1人)
(摂津) 前田富美男
- 千体以上 通算25回以上(1人)
(堺) 兼平 雅生
- 千体以上 通算15回以上(1人)
(梅の宮) 榮岩 眞彦
- 千体以上 通算10回以上(1人)
(御津ノ浜) 西野 静枝
- 千体以上 通算5回以上(1人)
(梅の宮) 黒川 友子
- 千体以上(46人)
(高槻) 黒川肇子・平井靖子
(三島) 谷内滋治・田中文子
緒方佐千子・神島美代子・矢野義男
(摂津) 前田富美男・高瀬健二・加藤直温
(枚方) 森田陸・吉富慶子・浅田秋彦・坂本由子
(若松) 孝島正一・乾香枝子・乾清高
(旭) 那須真太・山下茂代
(城東) 湯田義宗・村上直枝
(東大阪) 枝廣忠夫(松月) 山田祐二郎
(神路) 宇佐美賢治・秋山常樹・桑名邦彦・秋山眞喜子
(天満) 杉谷直樹・杉谷全代・城戸正敏
(玉川) 田辺嘉一(御津ノ浜) 西野静枝
(木の花) 末延哲子・油谷智善・末延隆利
(梅の宮) 福山俊郎・福山直美・榮岩眞彦・黒川友子
(曙) 城本敬夫・岡田啓志
(堺) 兼平雅生
(貝塚) 松下佳子・伊藤香
(泉州) 楠田都庸次
(未所属) 谷澤朗身 (以上、敬称略)

5月乙姫様月次祭執行

五月晴れの爽やかな5月27日(土)午後1時より齋主II岩崎誠子、祭員II宇佐美日出子・池田明美・那須眞智子各氏により清々しく執行された。入江育子・紫竹よし子各氏は、つるかめ抄『教育編』を拝読。参拝者は63名。祭典後は水田千寿連合会会長より、みろく大祭での梅松苑食堂献勞ご奉仕・直心会献金バザーご協力・緑寿館献勞ご奉仕のお礼を述べられた。万祥殿の畳ふき用雑巾も本日300枚以上集まりました。6月24日乙姫様月次祭に本部、木村且哉様のご案内でカトリック信者の皆様をご参拝されますので多数の参拝をお願いされた。また今一度、マイボトル・マイ箸持参と月次祭直会後のお弁当の持ち帰りをお願いした。芸術部からは、お茶席当番について7月月次祭・9月月次祭秋季慰霊大祭に当たっている分所支部にご協力をお願いした。ドモからは今年も「鳥取のらっきょう」の予約販売を始めますとの連絡があった。献金バザーでは本日、大阪本苑の庭のドクダミから作った「ドクダミ茶」を試飲して頂きお求め頂いた。いちご・りんごの直会のおと「基本宣伝歌」を斉唱して散会となりました。



乙姫様月次祭



「乙姫様月次祭祝詞」奏上

大阪本苑祭式講習会・ 葬祭研修会開催報告

大阪本苑春の祭式講習会が6月3日(土)、4日(日)の両日開催された。本部より出口飛鳥霊祭課長をお招きし、祭式講習会6名・葬祭研修会12名・係員6名の参加で行われ、3日午前9時より伊藤香次長の挨拶で始まり午前中は基本動作と月次祭、午後からは大神鎮座祭・祖霊鎮座祭まで行い夕拝後出口飛鳥霊祭課長による講話「みたまつりについて」を拝聴した。4日は午前9時から別館の祭式講習会も並行し、ご神前で葬祭研修会を会場の飾りつけから実践形式のりハールまで行い研鑽を深めた。葬祭は常に待たなしの状況であり、大本信仰の継承にもつながる重要な宣教でもあることから今後とも日々の礼拝・月次祭の厳修と合わせ、後継者育成のため積極的な参加を願った。

の参加で行われ、3日午前9時より伊藤香次長の挨拶で始まり午前中は基本動作と月次祭、午後からは大神鎮座祭・祖霊鎮座祭まで行い夕拝後出口飛鳥霊祭課長による講話「みたまつりについて」を拝聴した。4日は午前9時から別館の祭式講習会も並行し、ご神前で葬祭研修会を会場の飾りつけから実践形式のりハールまで行い研鑽を深めた。葬祭は常に待たなしの状況であり、大本信仰の継承にもつながる重要な宣教でもあることから今後とも日々の礼拝・月次祭の厳修と合わせ、後継者育成のため積極的な参加を願った。



全国誠心会員研修会報告

5月27日〜28日の2日間、全国誠心会員研修会が開催され、大阪本苑から5名が出席した。(全国からは41名出席)27日午後1時から、猪子恒誠心会会長の礼拝・開会あいさつの後、神苑梅もぎの献勞奉仕(今年は豊作とのこと)、愛善歌「黄金の練習」エスプレントを通した日韓交流講話を拝聴し、就寝。

28日は午前8時30分から、各地方毎の活動報告があり、猪子恒誠心会会長による「み手代について」の講話を拝聴し、その後体験談発表では、南米本部、北陸本苑の体験談に続き、大阪本苑西野泰宣教部長がみ手代お取次ぎ体験談を発表した。伊藤香本部副会長の閉会挨拶があり閉会式の後、解散となった。

なにはづ短歌会報告

第137回 短歌会は5月13日午後、大阪本苑にて浅田弘子先生のご指導のもと開催しました。出席者6名。詠草24首(5月の詠草より) (敬称略)

カワラヒワ庭の手水に水しぶき
上げて飛びゆく木木の間を
松本 和子

弥仙山の記念祭典に妻と行き
ライブ配信にて麓でおろがむ
宇佐美 賢治

短歌会は本苑月次祭前日の土曜日午後1時より開催しています。
詠草だけでも結構ですので本苑に送って下さい。お待ちしております。

松山だより

松山ご奉仕は、第1、3、5土曜日と本苑月次祭前の木曜日の午前9時に大阪本苑から出発します。
次回は6月17日(土)
7月は1日(土)
6日(木)15日(土)
29日(土)です。
天候 その他により中止の場合があります。



第4回「令和5年 生きがい公開講座」配信

6月1日(木)第4回は「巨人 出口王仁三郎」〜みるくの世〜と題し
末延 隆利 大阪本苑特任宣伝使によりYouTube「人類愛善会大阪チャンネル」で配信を開始しました。未信徒の方、家庭内未信徒、未自覚信徒の方の聴講をお勧めください。



YouTube「人類愛善会大阪」チャンネルで配信中

●「令和5年生きがい公開講座」予告

8月人は死んだらどうなるの！

乾 清高 大阪本苑参事

自分は何年生まれて来たのか？ 死んだらどうなるのか？ これこれは歴史を経て変わらぬ人生の大問題です。すべての人がいざ迎える「死」を理解することは、とりもなおさず生きることの意義を知ることにつながります。

10月神と人との関係

神とは何か！人とは何か！

田辺 嘉一 大阪本苑特任宣伝使

12月芸術は宗教の母なり

大自然は神の芸術である

神門 明子 大阪本苑参事

●高熊山献勞奉仕のご案内

今年も恒例の高熊山献勞奉仕を実施致します。老若男女問わず作業がありますのでご家族でご参加下さい。

〔日時〕7月17日(月)・祝・海の日

〔集合〕午前9時 亀岡天恩郷

みろく会館・ロテター前

〔申込〕大阪本苑青松会まで

〔締切〕7月9日(日)

〔持ち物〕作業のできる服装と帽子・タオル。入浴の用意をして下さい。

●第64回大阪本苑夏期学級のご案内

今年は大阪本苑内での開催をします。多くの少年のご参加お待ちしております。合わせて、お手伝い出来る青年のご参加をお待ちしております。

〔内容〕屋敷(バーベキュー)

マイ祝詞づくり、エスペラント語を使ったゲーム

詳細は締め切り後、追ってご通知いたします。

〔日時〕令和5年7月30日(日)

〔場所〕大阪本苑

〔対象〕小学校3年生～中学校3年生

(保護者同伴に限り小2・1年生の参加も可とします)

〔参加費〕2000円

(兄弟割引あり：2人目 1500円、3人目 1000円)

〔締切〕7月16日(日)

〔申込先〕阿部比呂志青年部長

ahiroshi26@gmail.com

申込用紙に必要事項を記入の上、大阪本苑にFAXまたは右記メールアドレスにご連絡ください。

●文化教室のご案内

7月本苑月次祭時から、文化教室開始時間が早くなります。直会后、分所支部長会議開始の30分前から1時間程の開催(終了は各教室適宜に変わります。)

多くの皆さまのご参加をお待ち致します。

◆お茶教室 入席の仕方から

〔茶室〕担当 田中文字さん・山田洋子さん

◆謡教室 「竹生島」の奉納をめざして

〔歌ぎの家和室〕担当 矢野義男さん

◆着物教室 着物を着よう

〔歌ぎの家和室〕担当 石川イツ子さん・橋本早苗さん

◆エスペラント教室 発音の仕方から

〔歌ぎの家台所〕担当 増井さえ子さん

◆霊界物語役割拜読会 12月奉納目指し練習を

〔歌ぎの家和室〕担当 神門明子さん

◆冠沓句教室(30分間)

〔歌ぎの家和室〕担当 谷内 滋治さん

皆様の冠沓をお持ちください。アドバイス教室です。

テキスト、持ち物は本苑で用意します。参加費は無料です。

●第74回大本歌祭 献詠歌募集

〔投稿〕1人3首まで

〔選者〕教主さま

〔入花料〕1,000円

〔賞〕四光明、木の花抄、花明山集、梅香集

〔発表〕8月6日(後) 献詠歌集 歌祭投稿書(進呈)

〔締切〕6月15日(木)〔必着〕

〔送付先〕楽天社事務局大本歌祭献詠歌係

詳しくは、「大本」5月号10ページを参照

●分割道場修行のお知らせ

来たる6月25日(日)、7月1日(土)と2日(日)に、分割道場修行が開催されます。

大道場修行の1日目から3日目までを、大阪本苑にて受講することが出来ます。

引き続き4日目、5日目を本部で受講して終了となります。

本部講師に徳山嗣美(とくやまつみ)先生、裕 大福(ほだまふとみ)先生、串崎 哲(しりき)先生、田中雅道(たなかまきみち)先生

各氏をお迎えして開催します。

特に来年度、宣伝使を拜命予定の方はぜひ参加をお願いします。

必須条件として、3年以内に道場修行終了の証が必要です。

奮ってご参加をお願い致します。

〔主催〕大阪本苑

〔会場〕大阪本苑ご神前

〔締切〕6月20日(火)

◆大本地方道場開催プログラム

1日目 6月25日(日)午前9時～17時半

2日目 7月1日(土)午前9時半～17時半

3日目 7月2日(日)午前9時～15時

1日目 6月25日(日) 受付 8時半

9時 「開講式」

10時 「大本の出現」

11時 「救世の神業」

12時 「要のご用」

13時 「三代教主時代のご神業」

15時 「DVD鑑賞」

17時 「2日目 7月1日(土) 受付 9時

9時半 「霊界の真相」

10時半 「人生の目的」

17時 「3日目 7月2日(日) 受付 8時半

9時 「信仰と生活1」四大綱領

10時 「信仰と生活2」四大主義

12時 「閉講式」

14時半 「座談会」

15時 「閉講式」

●なにはづ芸術文化祭作品募集

「なにはづ芸術文化祭」が9月10日(日)大阪本苑秋季慰霊大祭の日に開催されます。

書道・手芸・写真・絵画等々、展示できる全ての作品を募集します。

お子様の作品も大歓迎です。

〔開催日〕9月10日(日)

〔場所〕大阪本苑ご神前の間

〔募集〕展示できる全ての作品(人3点を)

〔申込〕

〔締切〕8月31日(木)

〔作品搬入日〕9月9日(土)午前中まで

〔作退却日〕9月10日(日)芸術文化祭終了後

●大本生きがい常設講座のご案内

大阪本苑では、毎月2～3回土曜日に「大本常設講座」を開催しています。

未信徒・家庭内未信徒のお誘い合わせ宜しくお願い致します。

〔開催予定日〕

6月17日・6月24日

7月1日・7月15日・7月22日

●毎月冠沓句の発表と募集

句題は毎月次祭時に発表。

次月の月次祭時に入賞者を発表します。賞品あり。用紙は自由です。(FAX可)

分所、支部、氏名をお書き下さい。

締め切りは月末です。沢山のご応募をお待ちしております。

〔5月の冠沓句〕敬称略

冠句 五月晴れ新緑の田舎道

沓句 種をまく 集句 34句

天位 三島分所 谷内 いづみ

子や孫に平和な世界の種をまく

◆6月の冠沓句句題◆

冠句 紫陽花の・ありのまま・ゆくりと

沓句 歩み行く

●6月～7月(一部) 行事予定

6月11日(日)	本苑月次祭	AM 10:00
	分所支部長会議 文化教室(お茶、謡、着付け、エス語入門、役割拝読会)	
13日(火)	祭服クリーニング	AM 10:00
	大阪本苑書道部	PM 1:00
15日(木)	謡「大本心謡会」	PM 2:30
16日(金)	宣教会【リモート】	PM 7:00
17日(土)	常設講座「死んだらどうなるの?」	
	松山献勞	AM 9:00
18日(日)	分所支部月次祭	
20日(火)	エス語講習会(初級文法)	PM 1:30
21日(水)	お茶	AM 10:00
22日(木)	謡「大本心謡会」	PM 2:30
24日(土)	常設講座「人は何のために生きているの」	
	乙姫様月次祭	PM 1:00
	参事会	PM 7:00
25日(日)	分割道場修行1日目	AM 9:00
30日(金)	運営委員会	PM 7:00

7月1日(土)	常設講座「神と人との関係」	
	松山献勞	AM 9:00
	分割道場修行2日目	AM 9:30
2日(日)	分割道場修行3日目	AM 9:00
4日(火)	エス語講習会(初級会話)	PM 1:30
5日(水)	お茶	AM 10:00
6日(木)	松山献勞	AM 9:00
	霊界物語拝読会	PM 2:00
	謡「大本心謡会」	PM 2:30
7日(金)	エス語同好会	PM 1:00
8日(土)	短歌会	PM 1:00
	誠心会幹事会	PM 1:30
	メディア制作室配信準備	PM 3:00
	祭典リハーサル	PM 7:30
9日(日)	本苑月次祭・七夕	AM 10:00
	夏季行事無事開催祈願祭	
	(準備・掃除) 枚方・高槻・摂津(お茶席) 芸術部 分所支部長会議・世界連邦役員会 文化教室(お茶、謡、着付け、エス語入門、役割拝読会)	

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により変更になる可能性があります。



茶碗「金魚絵」
三代教主さま



三代教主さま



「一作」 三代教主さま
「知足」

本苑所蔵お作品介绍

神饌物献納御礼

5月祭典(本苑・乙姫様)には左記の方
々より神饌物を献納頂きました。
厚く御礼申し上げます。

- 岡尾 由貴様 (玉川)
- 久井 照子様 (鶴橋)
- 榮岩 眞彦様 (梅の宮)
- 和歌山 松山(エンドウマメ)

●み手代お取次

- 6月月次祭 西野 春光 宣伝使
- 7月月次祭 吉岡 宏起 宣伝使
- 8月月次祭 水田 千寿 宣伝使

前田純一特命派遣宣伝使在阪日程

7月30日(日)～31日(月)

特派のお取次ご相談は、事前に本苑事務所までご連絡下さい。

ホームページ



大本大阪本苑

YouTube



人類愛善会大阪

マイ箸
マイボトル
マイバック
マイ祝詞・讚美歌

SDGs

貧困に終止符を打ち、
地球を守り、環境を保護し、
全ての人が平和と豊かさを
享受することができるよう
「誰一人取り残さない」



新入信徒ご紹介

(敬称略)

- 星間 昭人 (ほしまあきひと)
- 星間 米太郎 (ほしまよねたろう)
- 85歳(三島分所)
- 55歳(三島分所)

本苑日誌(5月)

2日	エス語講習会(5人)
4日	教主生誕祭選拝祭
5日	三代教主・教主補聖誕祭選拝祭(3人)
6日	みろく大祭選拝祭(7人)
7日	常設講座(中止)
8日	松山献勞(4人)
9日	お茶(10人)
10日	松山献勞(5人)
11日	霊界物語拝読会(中止)
12日	謡「大本心謡会」(3人リモート2人)
13日	短歌会(6人)
14日	誠心会幹事会
15日	メディア制作室配信準備
16日	祭典リハーサル
17日	本苑月次祭(140人)
18日	分所支部長会議
19日	文化教室(14人)
20日	祭服クリーニング
21日	大阪本苑書道部(13人)
22日	エス語講習会(5人)
23日	謡「大本心謡会」(3人リモート2人)
24日	宣教会
25日	常設講座
26日	松山献勞(3人)
27日	分所支部月次祭
28日	お茶(10人)
29日	謡「大本心謡会」(3人リモート2人)
30日	エス語同好会(5人)
31日	参事会
	常設講座
	乙姫様月次祭(63人)

帰幽報告(令和5年)

西浦ヨシエ 毘女 (三島分所)	2月24日 帰幽 享年 88歳
長尾 栄一 毘古 (貞塚分所)	5月18日 帰幽 享年 81歳
森脇 朱実 毘女 (枚方分所)	5月18日 帰幽 享年 75歳

つつしんで哀悼の意を表します。